

- ・ アヒルの飼育活動 ・ ゴーヤの栽培 ・ 畑、花の栽培
- ・ 「普段使っている水の量を知る」 ・ 「プールの水の量を計る」
- ・ ワールドビジョン出張授業「貧しい国の水について知る」
- ・ 「世界を知ろう」国旗作り／国の特色調べ／世界地図作り
- ・ 「命の木プロジェクト」
- ・ あんずジャム作り

※ 上記の中から「世界を知ろう」活動について報告します。その他の物は添付資料に写真と内容が詳しく載っていますのでご覧下さい。

【世界を知ろう】

全3回に分けて活動を行う。3、4、5歳児異年齢3グループ（各24人）に分かれて活動する。

1回目の活動は、国旗作り。

3・4歳…国旗のぬりえ、5歳…国旗のカラーコピーや、国旗カードの見本を見て自分で国旗を描く。

2回目の活動前までに、国の特色を調べて知る。（1グループ6人ずつで、4カ国、計12カ国）

保護者向けに手紙を出し、各家庭で1つの国の特色を1つずつ調べてもらう。（ex:アメリカ…ハンバーガー、自由の女神、金髪の人、など）
家庭で調べた特色を、職員がネットで調べ、それについての写真や絵などの素材を収集する。

素材が全て揃ったら2回目の活動を行なう。

1カ国ずつの特色の素材を子どもたちにそれぞれ見せて説明、24人で共有してから、1カ国ずつ、素材を画用紙に糊貼り作業。出来た物をグループごとに発表して見せ合う。

3回目の活動前までに、12カ国それぞれの素材をラティスに大陸ごとに分けて貼っておく。

プロジェクターを使い、世界地図を大きく映して模造紙に写し取り、ホールの壁に貼り出しておく。（職員の事前準備事項）

3回目の活動。ホールに全員で集合し、グループ毎に各国（12カ国）を発表し合い、共有する。

その後、完成した世界地図は、職員が廊下に貼り出し、子ども達が見えるようにしておく。子ども達が1回目の活動で作った国旗は、小さくコピーし、世界地図の国の場所に貼って完成。

【まとめ】

子どもの活動は、国旗作りと各国の素材を貼るだけの作業にした。

自分の担当した国や、他国のことをじっくり見たり、考えたりする時間を大切に活動の進め方を工夫して行なった。

子どもたちも世界地図の形になると、達成感がとても味わえたようであった。ソチオリンピックの時期とちょうど重なり、テレビで国旗を見る機会や、各選手に興味を持った子が多く、保護者からも反響が良かった。

取り組みや企画に関しては、ESDの活動として行ったこともあり、係だけがそのほとんどを行っていた印象。

職員全体に活動自体への協力や、興味関心を浸透させる事の難しさを感じる。今後の課題である。

1つの大きなテーマを決めて取り組んでいく活動としては、良いテーマ選びであった。

※上記内容についての、写真添付参考資料あり。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）